

## 地球温暖化対策報告書（その1）

### 1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	公立大学法人 首都大学東京 理事長 川淵 三郎
事業者番号	A 0 9 6 3

### 2 報告する事業所等の全体の状況（平成26年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	5 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	2,994 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl

### 3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

### 4 事業者としての取組

取組方針	①南大沢キャンパスの取組・・・大規模事業所となる南大沢キャンパスにおいては、第1計画期間(平成22～26年度)内の年度毎に目標を定め、5年平均8%以上のCO2削減を達成した。今後、第2計画期間(平成27～31年度)においても5年平均8%以上のCO2削減義務を達成できるよう年度毎に目標を定め取り組む。 ②各キャンパスの取組・・・中小規模事業所となる各キャンパスにおいては、省エネ法における中長期期間(平成22～26年度)内において、エネルギー消費原単位年平均1%以上の低減を達成した。今後も引き続き低減義務を達成できるよう年度毎に目標を定め取り組む。 ③その他・・・大学全体(教員、職員、学生)が一体となって取り組む。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A113	推進担当者の知識向上・内部還元

### 5 特記事項

<p>・今夏の節電対策・・・目標値:平成22年度の使用最大電力の値に対して11%削減した値を使用電力の上限として以下の取組を行なう。①照明の点灯数を削減する。②冷房時、室温は28℃未満にならないようにする。③パソコン等事務機器の電力消費量を削減する。</p> <p>・施設については、施設整備計画に基づき計画的に順次設備更新をしており、それにより温室効果ガスの削減を図っている。</p> <p>・温暖化対策推進体制は、法人に委員会、各キャンパスに部会を設置して対策に取り組んでいる。</p> <p>・省エネ法に基づきエネルギー管理基準を整備し、活用している。</p>
---

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日野キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	9	1	-	0	0	6	5	区市町村名	日野市
	町名番地以下	旭ヶ丘六丁目6番地									
事業所等の延床面積	30,784.67		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	新実験棟群改築工事に伴う建物の一部解体による延床面積の減少										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	1,146	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,807 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	7 t
	総計(④=②+③)	④	1,814 t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 <sup>※1</sup> (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm <sup>3</sup>	111,511.1	45.00	5,018.0	0.014	253.9	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(A重油)	<input type="checkbox"/>	L	815.0	39.10	31.9	0.019	2.2	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	<input type="checkbox"/>	昼間(8時~22時)	kWh	2,468,132.0	9.97	24,607.3	0.382	942.8
	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,593,795.0	9.28	14,790.4	0.382	608.8	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup>		<input type="checkbox"/>	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計					⑬	44,447.6	⑭	1,807.8	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	11,104.0			0.200	2.2	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	10,668.0			0.450	4.8	
合計							⑮	7.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
E114		高効率パッケージの採用	E113	高効率ボイラの採用(空調用)	
			E124	更新に合わせた高効率機器の採用	

実績年度の目標達成の状況  目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

平成26年度 節電対策【常時行方取組】○適正な室温での空調利用(冷房時は室温28℃未満にならないよう調整)○集中空調と個別空調の併用禁止OPC等事務機器の電力消費量を削減【実績年度の目標】原油換算使用量前年度比1%減【その他】○その他対策について、以下の取組も行っている。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荒川キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	8	5	5	1	区市町村名	荒川区
	町名番地下以	東尾久7-2-10									
事業所等の延床面積	29,635.27		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 工場			<input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input checked="" type="checkbox"/> その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	578	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	920 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	5 t
	総計(④=②+③)	④	925 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	31.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 <sup>*1</sup> (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm <sup>3</sup>	89,608.9	45.00	4,032.4	0.014	204.0
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0				
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電		kWh	394,327.0	9.97	3,931.4	0.382	150.6
	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	1,480,017.0	9.76	14,445.0	0.382	565.4
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh						
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>*2</sup>		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.382	⑬
合計					⑭	22,408.8		⑮
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	5,334.0			0.200	1.1
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	9,850.0			0.450	4.4
合計								⑯

\*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

\*2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E113	高効率ボイラの採用(空調用)
E114		高効率パッケージの採用	E124	更新に合わせた高効率機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

本キャンパスの今夏の節電対策の主だったものは次のとおりである。○事務室・研究室の照明器具について、半減を目安に消灯する。○講義室・実験室等の照明器具は、原則窓際一列を常時消灯する。○空調は28℃未満にならないよう電源をこまめにON/OFFする。中央式空調における冷温水発生機の運転台数制御。○エレベーターは3台中1台を常時停止する。○パソコン類は省エネモードに設定する。○教員のプリンター・コピー機は使用時のみ電源を入れる。○実験機器は使用時のみ電源を入れる。など

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	晴海キャンパス											
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	3		
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	5	3	区市町村名	中央区	
	町名番地下以	晴海1-2-2										
事業所等の延床面積	9,869.02		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有											
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)											
	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	143	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	233 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1 t
	総計(④=②+③)	④	234 t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	23.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ①	係数 ②	熱量 (GJ) ③=(①/1000)×②	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ④	排出量 <sup>※1</sup> (t) ⑤=③×④×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm <sup>3</sup>	31,200.7	45.00	1,404.0	0.014	71.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他( )	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	<input type="checkbox"/>	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	424,436.0	9.76	4,142.5	0.382	162.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup>		<input type="checkbox"/>	kWh	①	0.0	9.76	④	0.0	
合計					⑤	5,546.5	⑥	233.2	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	2,631.0			0.200	0.5	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	2,728.0			0.450	1.2	
合計							⑦	1.8	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
	設備保守対策			CB08	温度計等による室温の把握と調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況  目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	<input type="text"/>	%	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	<input type="text"/>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	<input type="text"/>	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

建物の一部使用のため、建物所有者の要請に従い電力使用抑制策を行う。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高専荒川キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	3	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	南千住8-17-1									
事業所等の延床面積	30,819.55 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	①	503	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	791 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	4 t
	総計(④=②+③)	④	795 t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	25.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 <sup>*1</sup> (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm <sup>3</sup>	54,488.4	45.00	2,452.0	0.014	124.1
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )	<input type="checkbox"/>		0.0				
	その他( )	<input type="checkbox"/>		0.0				
電気	一般電気事業者からの買電		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
	夜間(22時～翌日6時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	1,747,730.0	9.76	17,057.8	0.382	667.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>*2</sup>			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合計					⑬	19,509.8		⑭
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	6,421.0			0.200	1.3
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m <sup>3</sup>	7,153.0			0.450	3.2
合計							⑮	4.5

\*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

\*2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。



(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E124	更新に合わせた高効率機器の採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況  目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

平成27年度 夏の節電対策【常時行う取組】○照明点灯数の削減○空調機の運転制御(各室運転スケジュール登録)○エレベーターの稼働台数の削減○その他【ピーク時に行う取組】○空調の一部強制停止○その他 【実績年度の目標】原油換算使用量22年度比1.99%減

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川シーサイド・高専品川キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	1	区市町村名	品川区
	町名番地 以下	東大井1-10-40									
事業所等の延床面積	38,765.42		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間		■ 1年度分		□ 1年未満		
所有形態	■ 自己所有		□ 他者所有								
報告範囲	■ 建物の全部		□ 建物の一部(テナント)			□ 建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	□ 事務所		□ 商業施設(物販)			□ 商業施設(飲食)					
	□ 工場		□ 複合施設			■ その他					
日本標準産業分類 における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分		□ 直営店		□ 加盟店		■ 非該当
前年度の報告内容 からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	624	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	②	967 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	9 t
	総計(④=②+③)	④	976 t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	24.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計 の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出 係数 ⑨	排出量*1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス	□ Nm <sup>3</sup>	40,064.0	45.00	1,802.9	0.014	91.2
	その他(LPG)	□ kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□ L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□	0.0				
	その他()	□	0.0				
電気	一般電気事業者 からの買電	□ kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
	夜間(22時~翌日6時)	□ kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□ kWh	2,294,482.0	9.76	22,394.1	0.382	876.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値*2		kWh	④	9.76	⑧	0.382	⑩
合計					⑧ 24,197.0		⑩ 967.7
その他	水道及び工業用水道	□ m <sup>3</sup>	12,000.0			0.200	2.4
	公共下水道	□ m <sup>3</sup>	16,522.0			0.450	7.4
合計							⑩ 9.8

\*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、  
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

\*2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑩=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
E114		高効率パッケージの採用	E113	高効率ボイラの採用(空調用)	
			E124	更新に合わせた高効率機器の採用	

実績年度の目標達成の状況  目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・集中科目で「都市環境工学」等、環境関連講座を開講・学生会の環境美化活動に対して物品を支給  
 ・エネルギー、環境に関する課題を重点課題に設定  
 ・WGを実施・産技大と連携した取組を実施(品川)  
 ・環境関連テーマの出前授業を実施